

新まち通信

～ 明日のために II ～



新しいまちづくり係では、富士見町の水環境を守りながら豊かな水資源を活用し、町の活性化を図ることを目的に、天然水の製品化を研究するための専門チーム「ナチュラルミネラルウォーター製品化プロジェクト」を発足いたしました。

富士見町の豊かな水環境は何ものにも変えがたい財産であり、子々孫々までこれを伝えていかなくってはなりません。しかし、水環境を取り巻く状況は数々の問題を抱えており、住民の関心も高まりつつあります。

このような中で、水環境をどのように守り育むことが可能か研究し、

同時に地域にある資源を積極的に活用し、活力ある地域づくりに向けた取り組みを展開するために、富士見町のおいしい水をペットボトルに詰めて販売し、売上の一部を基金として積み立て、昔から親しまれ暮らしを支えてきた森や林を守る活動に結びつけるための研究を始めました。

このプロジェクトは平成17年度中の実現化を目指していますが、現在は富士見町の水の特徴を調査するための水質検査や天然水のネーミング、ペットボトルのラベルについて研究を進めています。

また、製品化したものは姉妹町や友好都市で開催されるイベント等で活用したり、町内の観光施設や店頭での販売も研究したいと考えています。

新しいまちづくり係は、地域資源を活かしたまちづくりに向けて具体的な取り組みに着手しました。

このコーナーに関する「ご意見」感想をお寄せください。

問い合わせ

総務課新しいまちづくり係

☎ 62 9328 (有) 9328

FAX 62 4481

e-mail:

shimachi_town@town.fujinirigano.jp

高原の風にふかれて

動きだしたペンションビレッジ



特色を出すために、ニチレイの彗星ランを使ったアイスキャンドルを研究中です。ボールやバケツに水を張り彗星ランの花を水に浮かべ外気で凍らせます。氷の透明感と彗星ランの赤が絶妙な配色で、氷の中の泡や曇った部分など自然界の偶然がランを一層引き立てています。試験的に作成しましたが、期待以上の出来栄でした。各ペンションオーナーからは、さまざまなアイデアが出され、個性あるアイスキャンドルが出来そうです。またランの花を使った特色ある企画も現在研究中です。棒道を使った夏に向けた企画も少しずつ進んできました。

2月5日(土曜日) 富士見高原ペンションビレッジでアイスキャンドルフェスティバルが行われます。昨年、商工会青年部が中心になってコミュニティ・プラザを中心に行ったアイスキャンドルに参加し、今年はペンションビレッジの冬の企画として準備を始めました。参加するペンションがそれぞれの工夫をしたアイスキャンドルが、ペンション内の棒道を彩ります。

昨年暮れには、ペンションや取り付け道路沿いの「アレチウリ」駆除を管理会社と共同で行いました。自動車で通過した時には気づきませんが、かなりの勢いで観光地にも「アレチウリ」が増えてきました。ペンション、管理会社それぞれ共通の意識をもって、八ヶ岳エリアのレベルアップに向けた取り組みが本格化してきました。地元の方々が訪れても楽しい場所を目指しています。